



「卒業の春 それぞれの進路へ」

K.M. 君21歳 横浜市職員（会計年度任用）に採用



もともと能力の差が大きく、障害者手帳を取得していましたが、自分のできない部分への苛立ちから、家では爆発することも。自己嫌悪を抱えつつ、サテライトで足かけ4年の面談を続ける中で、自己肯定感を回復していきました。理解してくれる学校の先生方にも出会い、障害者雇用枠で働くことを選択。難関の公務員就労を獲得できました。

「これまで、節目節目で次のことを検討すると必ずもめたり、落ち込んだり…。こんなに明るい気持ちで次に進めるなんて、初めてです！」と晴れやかに話す彼の言葉に、これまでの生きづらさの大きさと今の喜びがあふれているようでした。

T.K. さん20歳 外食チェーン大手に正社員採用



苦手なことは料理と人に自分の意見を伝えること、という彼女が、2018年度のキャリア活動に参加。その中でのインターン経験から飛躍的な成長が始まりました。本来は内気な彼女が、サテライトでアル活してアルバイトをスタート。素直で前向きな性格から周囲の信頼を得て、本部勤務正社員採用の声がかかりました。「これからは自分のようなアルバイトさんの力になれるのが楽しみ」と、さなぎから蝶になったかのような明るいT.K.さん。頼もしいです。



卒業後は…
サポステへ活動を移してゆっくり進路を決めていく生徒たちも相当数。それぞれのペースや考え方で、本人たちにとって一番良いと思えるゴールを一緒に考えるのも、私たちの喜びです。

N.G. さんのメッセージ

「まずは自分に自信が持てるように何でもいいのでしょう。街を胸を張って歩きましょう」

2020年の1月。初めてお会いした時には、緊張して口数が少なく自信なさげに見えました。その後徐々に活動的になり、通いのファーム体験を終えた時点で「アルバイトに応募したい」と。こちらの予想より早い展開に、大丈夫か？と少々不安でしたが、がんばりました！！

初来所から約7か月でお仕事決定。
「まずは自分に自信が持てるように何でもいいのでしょう。街を胸を張って歩きましょう」。

ゴトウさんが卒業の時に後輩のために書いてくれたメッセージです。（担当スタッフ谷より）

※1サポステの運営母体、K2インターナショナルグループのNPO法人ヒューマンフェローシップが所有する「にこまるソーシャルファーム」での農業体験プログラム。横浜、磯子の山の上にあります。

※2パドリングタイム。朝10時に集合し、毎回モノづくりやグループワーク、座談会等いろいろな活動を通じて新しい場所や人に慣れていくためのプログラムです。週に2回。



事務方 こぼれ話

昔の常識が通じない

とは最近よくあるお話。先日、頭の中がAIなスタッフにコピーしてもうつらない蛍光色を教えてほしいと言われ、私なんぞに質問された事に有頂天になり、優越感にひたり、自信をもって“それは黄色です”と答えたのだが…最近のコピー機は蛍光色をも映しやがる！もうついていけない…！



湘サポ DX!!

オンラインインテークはじめます

今まで来所での面談のみだった初回の面談をオンライン（zoom）で行うことができます。湘サポのホームページの「お問い合わせ」メニューから申し込むことができます。コロナ時代にも困っている人に寄り添えるように、DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進しています！

湘南・横浜若者サポートステーション

■大船相談室
月～金 10時～18時
（土・日・祝・年末年始は閉館）
〒247-0005
神奈川県鎌倉市小袋谷1-6-1/2F
Tel: 0467-42-0203 Fax: 0467-42-0204
Mail: shonan@K2-inter.com
URL: https://shosapo.com



鎌倉市保護者セミナー

2021年5月22日（土）セミナー13時～

2021年5月29日（土）個別相談会13時～

会場：湘南・横浜若者サポートステーション

発行年月日：2021年5月15日 発行責任者：岩間 美由紀

NEWSLETTER 2021 vol.1



オンラインセミナー



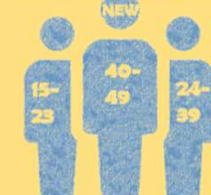
Zoom面談



動画セミナー



ハガキ大作戦



サポステプラス



アウトリーチ



保護者セミナー
オンライン



横浜市ビジネス
パソコン講座



Ready for
Work Program

withコロナ 私たちがやってきたこと

地域若者サポートステーションは、ハローワークと同様に

「社会機能の維持に不可欠な業務を行う事業者」にあたるため、コロナ禍においても閉所せず支援を継続しました。

今号ではこの1年私たちがやってきたことをお伝えします。



オンライン
セミナー

オンラインセミナー

普段の活動をどうやってオンラインに持ち込むのかには試行錯誤を重ねました。さまざまなリモートによるセミナーが増えました。

ヨガセミナー ご自宅にいる講師と、オンライン上のメンバー、来所したメンバーと3か所で同時開催。身体がほぐれると心がホッとするようです。

パドリング 脳を活性化する“ブレインジム”や、自分のこだわりを紹介する「なんでも発表会」、セーの街に飛び出して発見したものをオンラインで画面共有する街散歩、パステルアートもリモートで挑戦！なんでもやってみるものと、やる側参加する側双方が楽しめました。



オンライン
面談

オンライン面談

今までずっと対面で行ってきた来所相談に、オンライン面談が加わりました。緊急を要さないものについては、感染拡大防止のためにオンラインでの実施を進めるようにという厚労省の指示のもとに急ぎ整備しZoomでの面談をスタート。初めは使う側もおっかなびっくりでしたが、「習うより慣れろ！」をモットーにとにかく実施してみることに。おかげさまで1年後の今は技術も身に付き、機材も揃い、面談はもちろん内外の研修会や会議、セミナーなどに活用できています。

withコロナ～私たちがやってきたこと～



保護者セミナー
オンライン

保護者セミナーオンライン

急速にオンライン化する世の中に追いつくべく、保護者の方ともオンラインで「離れてつながる」を実現。緊急事態宣言が明けたタイミングで多くの方にご参加いただきました。親御さんとしても先行き不透明なこんな時だからこそ、相談を考える方が多かったのではないかと思います。

6月セミナー来所 10名 オンライン4名 個別相談会 12名
8月セミナー来所 10名 オンライン2名 個別相談会 11名
1月セミナー来所 3名 オンライン3名 個別相談会 7名

Ready for Work Program

2020年は緊急事態宣言の合間を縫って3回実施。
7月（6名）／8月（4名）／11月（3名）

参加者には就職が決まり4月から正社員になった人、アルバイトを始めた人も。コロナ禍の中の厳しい雇用情勢ですが、このプログラムは履歴書に「地域若者サポートステーションの集中訓練プログラムに参加」と書けます。履歴書の職歴欄に訓練歴が5行は加わる！この先どんな職場に入ったとしても人とは関わります。就労体験こそブランクが長い人、職歴が短い人にとっては事前にチャレンジして経験を増やせる場なのです。失敗だって貴重な経験です。就活に入る前の方に有意義なプログラムです。



Ready for Work
Program

OBからのメッセージ 【8月参加 → 12月アルバイト → 2021年4月より正社員採用】

●湘サポで得たこと

面談やセミナーではこれまでの経歴や自分の考えを人前で話すことで、自分が何を思っているのか、これからどうしていきたいのかより具体的に考えることが出来るようになったと思います。就労体験や面接練習で他の利用メンバーの方と一緒に就職に向けた活動が出来たことは他の場所では得難い経験だったと思います。

●他の利用者へのメッセージ

自分や家族だけで考えたり悩んでいるだけでは行き詰ってしまうような事も、相談やセミナーで他の人と接したり対話する中で、今までとは違った方向性が見えてくるかもしれません。サポステに通ったから突然自分が変わるわけではありませんが、今までやって来なかった事に挑戦するきっかけになればいいと思います。

支援者連携ネットワークづくり



アウトリーチ

2020年度はサポステ+（プラス）の開始に伴い連携先43か所にパンフレットを持参し担当者の方に各地域の8050問題の現状などを伺いました。顔の見える関係を作り、支援者・地域・家族そして本人も巻き込んだネットワークづくりの一歩です。

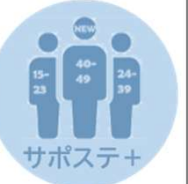
働いてはいなくても、家事や支援が必要な家族の世話をするなど家での役割が出来ている。親御さんの問題意識が薄く「よくやってくれている」「ほんとうに助かっている」と肯定的な受け止めをしている家庭もある。支援者としては親御さんを見送った後のことが心配。40代50代になってからだと、出遅れてしまう。

訪問先で
出会った
支援者の声

8050

最近一番困難だと思っているケースは、親御さんが既に亡くなっていて、かつ今まで地域の眼から隠していたため、どこにもつながっていないご家庭について、どうやってアプローチすればいいのか。ゼロから関係性をつくらなければならず、全く糸口がない。完全に孤立してしまっている人は、見つけることも難しい。

就職氷河期世代活躍支援プラン サポステプラス



サポステ+

内閣府主導の「就職氷河期世代支援プログラム」の一貫として2020年4月1日から「40～49歳」への支援「サポステ・プラス」を開始。就職氷河期世代、ブランクが長い人、職歴が少ない人、働くことに悩みを抱える方とそのご家族に相談をはじめとする様々な支援を行います。

サポステプラスが開始から1年。氷河期世代の方の支援は若い世代の方とは異なります。正規就労を望みながらも生きるために非正規就労でなんとか頑張ってきたもおられます。また生きづらさから働く場への参加が上手くいかず、心折れてきた方も多く。そしてプラス世代には年齢とお金が喫緊の課題です。どんな方でも、今までそれぞれのご事情がありつつも思い切ってサポステに来られている経緯があります。まずはご本人の話をよく聞き、個別に伴走支援を行っています。



横浜市ビジネス
パソコン講座

横浜市ビジネスパソコン講座

名称：横浜市就職氷河期世代相談サポート付集中プログラム事業

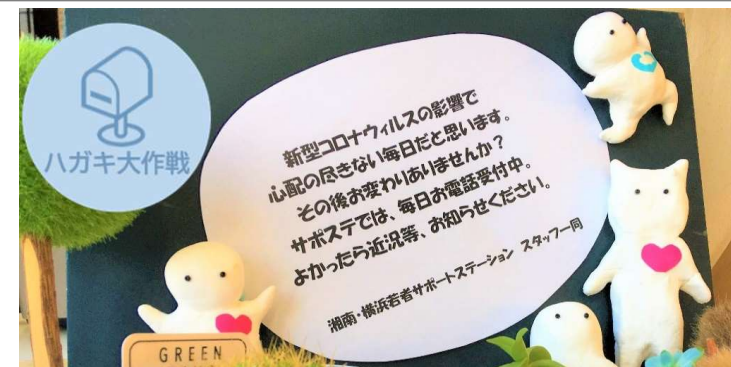
主催：横浜市子ども青少年局青少年育成課

目的：氷河期世代のみなさんの就職意欲の向上・就労に向けてスキルアップ支援

横浜市に在住の34歳～49歳までの方を対象に実施。

第一期（2020年10月開講）：9名 第二期（2021年1月開講）：11名
内容はExcel・Word、zoom、gmailの取得やメールのルール、職業興味セミナー、履歴書の自己PRの書き方セミナー等。

修了時には講師より履歴書にも講座修了したこと、基本スキルの取得ができたことをぜひ書いて下さいと太鼓判を頂きました。二期の最終日には関内のわかものハローワークプラス担当の方が来場し窓口紹介。その場で早速予約をされる方もありました。次の一歩に向けて、参加のみなさんの首尾を祈るとともに、引き続き支援を続けていきます。



ハガキ大作戦

新型コロナウイルスの影響で心配の尽きない毎日だと思います。その後も変わらぬ毎日お電話受付中。サポステでは、毎日お電話受付中。よかったら近況等、お知らせください。湘南・横浜若者サポートステーション スタッフ一同

コロナ禍ではzoomや動画セミナーなどオンライン支援も拡充したいっぽう、アナログなお手紙の魅力も捨ててはけません！心を伝えるツールとしてオリジナルハガキを作りました。出したハガキにお返事をくださる方もいてとてもうれしく！お手紙での交流にほっこりしました。